

講義要項(シラバス)

科目名	こころとからだのしくみ			授業方法	講義・演習	
担当教員名	小林 直竹			必修・選択	必修	単位数 8単位
学科	介護福祉科	学年・時期	1年 通年		回数	60回
担当教員の実務経験	看護師として病院・施設で多様な利用者の心身の変化を観察し、症状理解や生活支援に直結する判断を行ってきた経験を有する。その実務経験を活かし、「こころとからだのしくみ」では心身の構造や変化を、臨床で実際に起こる事例と結びつけてわかりやすく指導する。特に、生活行為に影響する心身機能の変化や観察の視点、多職種連携の重要性を具体的に伝えることを重視している。					
授業の目的及びねらい 人間の心と身体の構造・働き・変化を総合的に理解し、生活支援における「観察・判断・支援」の基礎となる知識を身につけることを目的とする。 特に、 ・こころ(心理) ・からだ(生理・解剖) ・生活行為(移動・身支度・食事・入浴・排泄・睡眠) ・人生の最終段階(終末期) の相互関係を理解し、利用者の尊厳を守りながら、心身の変化に気づき、適切に対応できる介護福祉士としての基礎力を育成する。						
授業終了時の到達目標 ① 心のしくみを理解し、利用者の心理状態を捉えられる ② 身体のしくみを理解し、生活支援に必要な生理的知識を説明できる ③ 生活行為(移動・身支度・食事・入浴・排泄・睡眠)に関連する心身のしくみを理解する ④ 心身の変化に気づき、適切な対応を考えられる ⑤ 人生の最終段階の心身の変化を理解し、尊厳ある支援を考えられる						
回数	各回のテーマ・内容				授業以外の事前準備 学習内容	
1	健康の定義 ねらい:健康の概念を理解し、介護における健康の捉え方を説明できる。 学習内容:WHOの健康定義、心身・社会的側面、介護現場での健康観。				適宜、指示します。	
2	健康づくり ねらい:健康づくりの考え方と生活習慣の重要性を理解する。 学習内容:生活習慣、予防、健康行動、介護職の役割。				適宜、指示します。	
3	健康観 ねらい:健康観の個人差と文化的背景を理解する。 学習内容:価値観、人生観、健康の主観的評価。				適宜、指示します。	
4	人はなぜ病気になるのか ねらい:疾病の成り立ちとリスク要因を理解する。 学習内容:病因、生活習慣病、ストレス、環境要因。				適宜、指示します。	
5	基本的欲求 ねらい:生理的・安全の欲求を理解し、介護場面での影響を説明できる。 学習内容:マズローの基礎、欲求不満と行動。				適宜、指示します。	

6	社会的欲求 ねらい: 所属・承認の欲求が行動に与える影響を理解する。 学習内容: 人間関係、孤立、承認欲求。	適宜、指示します。
7	自己実現 ねらい: 自己実現の概念と高齢者支援への応用を理解する。 学習内容: 自己成長、生きがい、自己決定。	適宜、指示します。
8	自己概念に影響する要因 ねらい: 自己概念の形成要因を理解する。 学習内容: 経験、評価、環境、自己受容。	適宜、指示します。
9	自立への意欲と自己概念 ねらい: 自立支援と自己効力感の関係を理解する。 学習内容: 自立支援、成功体験、介護者の関わり。	適宜、指示します。
10	自己実現と尊厳・生きがい ねらい: 尊厳の保持と生きがい支援の重要性を理解する。 学習内容: 尊厳、QOL、生きがいの構造。	適宜、指示します。
11	国際的な取り組み ねらい: ノーマライゼーションと国際的な権利保障を理解する。 学習内容: 障害者権利条約、ICF、介護福祉士の倫理。	適宜、指示します。
12	こころとは何か ねらい: こころの定義と心身相関を理解する。 学習内容: 心理の概念、心身のつながり。	適宜、指示します。
13	脳のしくみ ねらい: 脳の構造と働きを理解する。 学習内容: 大脳、小脳、脳幹、神経伝達。	適宜、指示します。
14	認知のしくみ ねらい: 認知の過程と認知の歪みを理解する。 学習内容: 注意、判断、認知バイアス。	適宜、指示します。
15	学習のしくみ ねらい: 学習理論と行動変容を理解する。 学習内容: 条件づけ、強化、介護場面での応用。	適宜、指示します。
16	記憶のしくみ ねらい: 記憶の種類と障害を理解する。 学習内容: 短期・長期記憶、認知症との関連。	適宜、指示します。
17	思考のしくみ ねらい: 思考過程と問題解決の仕組みを理解する。 学習内容: 推論、判断、問題解決。	適宜、指示します。
18	感情・情動のしくみ ねらい: 感情の役割と情動の仕組みを理解する。 学習内容: 基本感情、情動調整。	適宜、指示します。
19	意欲・動機づけのしくみ ねらい: 動機づけの種類と支援方法を理解する。 学習内容: 内発・外発動機、モチベーション。	適宜、指示します。
20	適応のしくみ ねらい: ストレスと適応の関係を理解する。 学習内容: ストレス反応、コーピング。	適宜、指示します。
21	からだのしくみの理解 ねらい: 人体の基本構造を理解する。 学習内容: 細胞、組織、器官系。	適宜、指示します。
22	生命を維持するしくみ① ねらい: 循環・呼吸の仕組みを理解する。 内容: 心臓、血管、呼吸の流れ。	適宜、指示します。
23	生命を維持するしくみ② ねらい: 消化・排泄の仕組みを理解する。 内容: 胃腸、腎臓、排泄の流れ。	適宜、指示します。
	生命を維持するしくみ③	

24	ねらい: 内分泌・免疫の働きを理解する。 内容: ホルモン、免疫反応。	適宜、指示します。
25	演習2-1 内臓の名称 ねらい: 主要臓器の位置と働きを説明できる。 内容: 臓器カード、人体図ワーク。	適宜、指示します。
26	からだのしくみ総まとめ ねらい: 生命維持機能を統合的に理解する。 内容: 総合演習、小テスト。	適宜、指示します。
27	生活支援との関連理解 ねらい: 心身機能と生活行為の関連を理解する。 内容: 移動・食事・排泄とのつながり。	適宜、指示します。
28	なぜ移動するのか ねらい: 移動の意義を理解する。 内容: 自立、生活行為、社会参加。	適宜、指示します。
29	基本的な姿勢 ねらい: 姿勢の安定性を理解する。 内容: 立位・座位・臥位。	適宜、指示します。
30	ボディメカニクス ねらい: 安全な介助原理を理解する。 内容: 重心、支持基底面。	適宜、指示します。
31	移動に関連したところのしくみ ねらい: 移動の心理を理解する。 内容: 不安、恐怖、意欲。	適宜、指示します。
32	移動に関連したからだのしくみ ねらい: 移動に必要な身体機能を理解する。 内容: 筋力、関節、バランス。	適宜、指示します。
33	なぜ身支度を整えるのか ねらい: 身支度の心理的・社会的意義を理解する。 内容: 自己表現、尊厳。	適宜、指示します。
34	身支度に関連したところのしくみ ねらい: 身支度に影響する心理を理解する。 内容: 意欲、羞恥心。	適宜、指示します。
35	身支度に関連したからだのしくみ ねらい: 身支度に必要な身体機能を理解する。 内容: 巧緻性、姿勢保持。	適宜、指示します。
36	精神機能の低下が身支度に及ぼす影響 ねらい: 認知・感情の低下の影響を理解する。 内容: 認知症、意欲低下。	適宜、指示します。
37	身体機能の低下が身支度に及ぼす影響 ねらい: 身体機能低下の影響を理解する。 内容: 筋力低下、巧緻性低下。	適宜、指示します。
38	なぜ食事をするのか ねらい: 食事の意義を理解する。 内容: 栄養、楽しみ、社会性。	適宜、指示します。

39	食事に関連したこころのしくみ ねらい: 食事に影響する心理を理解する。 内容: 嗜好、意欲。	適宜、指示します。
40	食事に関連したからだのしくみ ねらい: 食事に必要な身体機能を理解する。 内容: 咀嚼、嚥下、消化。	適宜、指示します。
41	精神機能の低下が食事に及ぼす影響 ねらい: 認知・感情の低下の影響を理解する。 内容: 認知症、拒否。	適宜、指示します。
42	身体機能の低下が食事に及ぼす影響 ねらい: 身体機能低下の影響を理解する。 内容: 嚥下障害、巧緻性低下。	適宜、指示します。
43	なぜ入浴・清潔保持をするのか ねらい: 入浴の意義を理解する。 内容: 清潔、リラックス。	適宜、指示します。
44	入浴に関連したこころのしくみ ねらい: 入浴に影響する心理を理解する。 内容: 羞恥心、不安。	適宜、指示します。
45	入浴に関連したからだのしくみ ねらい: 入浴に必要な身体機能を理解する。 内容: 循環、体温調節。	適宜、指示します。
46	精神機能の低下が入浴に及ぼす影響 ねらい: 認知・感情の低下の影響を理解する。 内容: 認知症、拒否。	適宜、指示します。
47	身体機能の低下が入浴に及ぼす影響 ねらい: 身体機能低下の影響を理解する。 内容: 筋力低下、皮膚トラブル。	適宜、指示します。
48	なぜ排泄をするのか ねらい: 排泄の意義を理解する。 内容: 羞恥心、腎臓・膀胱の働き。	適宜、指示します。
49	排泄に関連したこころのしくみ ねらい: 排泄に影響する心理を理解する。 内容: 羞恥心、不安。	適宜、指示します。
50	排泄に関連したからだのしくみ ねらい: 排泄に必要な身体機能を理解する。 内容: 腎臓、膀胱、排尿反射。	適宜、指示します。
51	精神機能の低下が排泄に及ぼす影響 ねらい: 認知・感情の低下の影響を理解する。 内容: 認知症、失禁。	適宜、指示します。
52	身体機能の低下が排泄に及ぼす影響 ねらい: 身体機能低下の影響を理解する。 内容: 筋力低下、便秘。	適宜、指示します。
53	なぜ睡眠をするのか ねらい: 睡眠の意義を理解する。 内容: 休息、脳の回復。	適宜、指示します。
54	睡眠のしくみ ねらい: 睡眠の生理を理解する。 内容: 睡眠サイクル、レム・ノンレム。	適宜、指示します。

55	睡眠の質を高める ねらい:睡眠改善の視点を理解する。 内容:生活リズム、環境調整。	適宜、指示します。
56	死のとらえ方 ねらい:死生観の多様性を理解する。 内容:文化・宗教・価値観、ターミナル期。	適宜、指示します。
57	死に対するこころの理解 ねらい:終末期の心理変化を理解する。 内容:受容の段階、家族支援。	適宜、指示します。
58	終末期～死後のからだの理解 ねらい:終末期の身体変化を理解する。 内容:臨終期の変化、死後の変化。	適宜、指示します。
59	医療職との連携 ねらい:終末期ケアの連携を理解する。 内容:呼吸困難、疼痛緩和、多職種連携。	適宜、指示します。
60	総復習・統合演習・到達度確認 ねらい:60回の学習内容を統合し、心身理解と生活支援の関連を整理する。 内容:序章～第9章の総まとめ	適宜、指示します。
<p>成績評価の方法</p> <p>授業参加・態度 :50% 授業への主体的な参加姿勢を重視して評価する。出席状況・授業中の取り組み姿勢 発言や質問などの積極性・グループワークにおける協力的態度 他者の意見を尊重しながら学びに参加する姿勢 小テスト・課題・科目評価試験 50% 授業内容の理解度を確認するため、以下を評価対象とする。 ・各章末の確認テストワークシート・課題提出物 科目評価試験(筆記または実技を含む場合あり) 知識の定着度、理解の深さ、実践への応用力を総合的に評価する。</p>		
<p>使用テキスト・参考書等</p> <p>介護福祉士養成講座11(中央法規)こころとからだのしくみ ここからはじめる介護福祉士国家試験スタートブック2027 教員作成資料</p>		
<p>授業に関する特記事項(携帯電話の取り扱いや授業内のルール等)</p> <p>グループワークでは互いを尊重し、積極的に参加すること。 ・授業中の私語・飲食は禁止(水分補給は可)。 ・教室内の撮影・録音は禁止(許可がある場合を除く)。</p>		